

牛の異常産にご注意ください！！

アカバネ病の発生予察のための定点観測を岐阜県内では令和5年6～11月に計4回実施しました。抗体価の上昇(感染)は県内では認められませんでした。

昆虫媒介性疾病の予防は**媒介昆虫が活動し始める前＝春の予防接種が重要**です。**定期的なワクチン接種**をお願いします。

【アカバネ病とは】

- ・アカバネ病ウイルスによる感染症で、異常産を引き起こす
- ・伝播経路:カ、ヌカカにより媒介
- ・流行時期:夏～秋
- ・治療法:なし、ワクチンによる予防が可能

【症状】

- ・成牛(妊娠中の感染)
夏～翌年の春に死流産、
先天性の奇形を伴った体型異常子牛の分娩、難産
 - ・四肢の湾曲、脊柱の湾曲および斜頸
 - ・内水頭症(大脳欠損症)、頭部の変形
 - ・虚弱、歩行困難～起立不能
- ・子牛(生後感染)
運動失調、起立障害、後肢麻痺、神経症状等

【その他、牛の異常産を引き起す昆虫媒介性疾病】

- ・チュウザン病
 - ・アイノウイルス感染症
 - ・ピートンウイルス感染症
- 治療法はなく、ワクチンによる予防が可能

●参考:R5年度抗体陽転を確認した都道府県

アカバネ病	なし
チュウザン病	愛媛県(8月)、高知県(9月)、佐賀県(11月)、長崎県(11月)、熊本県(11月)、宮崎県(11月)、沖縄県(11月)
アイノウイルス感染症	なし

異常産等が確認されたら家畜保健衛生所へ連絡をお願いします!!

東濃家畜保健衛生所 TEL:0573-26-1111(内線395) FAX:0573-25-7669